

(088)

盛り上がるシーンも見ています。典型的なケースで言うと、たとえばストーンズやマドンナのライブには、大編成のバンド・ダンサー・シンガーがいて、大掛かりなステージ美術があつて、火花があがる。大人数のキャストと大仕掛けの演出でつくりあげているわけです。でもジュニアのライブはジュニアがひとり出てくるだけ。派手な舞台美術もなければ、火花があがるわけでもない。

ジュニア 演出もどうってことないし……(笑)。

平野 にもかかわらず、あの感じにもっていく。この人はいったいなにを使って観客を束ねているんだろうと。

ジュニア なるほど。

平野 もちろん強烈な音は鳴っている。ポリリズムです。で、ああ、これは祭りなんだと思った。アフリカの祭りがそうだし、ケチャなんかもそうだけど、エンドレスでつづくポリリズムでトランス状態にもっていくわけじゃない。

ジュニア そうですね。

平野 だとすると、ジュニアがやっているのは……言うならば……

ジュニア ??

平野 呪術です。

ジュニア 呪術！(笑)

平野 いや、真面目な話、呪術師がやっていることに近いのかもしれない。目に見えない力に呼びかけるのが呪術でしょう？ ジュニアのステージには声と音があるだけで、目を奪おうとする要素はほとんどない。目に見えないものだけで観客をグリップしているわけだから、これはもう呪術と考えるほかないんじゃないかと。

ジュニア なんやろな。もしかしたら、みんながあまり見たことのない感じだからなのかもしれないね。オレはMCも超あたりまえのことしか言わないんです。むずかしいことは言いたくないんですよ。

平野 うん。

ジュニア 「外でゴミ捨てるなよ！」とか(笑)。それって大事なことだと思っんです。

平野 だからって、ぼくが出ていって「ゴミを捨てるな！」って演説しても、ああいう空気にはならないよ(笑)。

「個性」は出すものではなくて、「出ちゃう」もの。
だから「自分」なんてものは
考えなくていいんです。



N°06 TAKU SATOH

佐藤 卓

さとうたく

1979年東京藝術大学デザイン科卒業、81年同大学院修了。株式会社電通を経て、84年独立。株式会社TSDO代表。ロケットキリトルガム「明治おいしい牛乳」のパッケージデザインをはじめ、美術館や博物館のシンボルマーク、企業のロゴデザインなどを手掛ける。岡本太郎生誕百年事業「TAO100祭」(岡本太郎記念館、再生を果たした《太陽の塔》のロコモマーケも担当した。また、NHK Eテレ『デザインあ』総合指導、21・21 DESIGN SITE館長を務め、展覧会企画も行うなど多岐にわたって活動。著書に『塑する思考』(新潮社)など。